



金勝こども園
金勝第2保育園
金勝小学校
6月10日(水)
第1号
(年3回発行予定)

子どもを中心に、体験や学びをつなげていく

金勝小学校 中川章子

今年度、本校は長年掲げていた学校教育目標を一新し、「心豊かに人とつながり しなやかに未来を拓く子どもの育成」としました。本校区の金勝こども園・金勝第2保育園の両園が掲げておられる保育・教育目標の「心ときめかせ しなやかに生きる 子どもの育成」への接続を強く意識し、子どもたちの園でのかけがえのない体験や学びをしっかりと小学校教育につなげていくという思いを込めた目標としました。

昨年度から本校区では、校区内校園長会を開催し、園の保育・教育を小学校教職員が知ること、また、小学校での子どもの学びを園の先生方が知ってくださるには、これまで以上に、どんな手立てが必要か、その際、どういった思いや意識を大切にすればよいかを何度も協議してきました。コロナ前とは、園も学校も教職員の年齢層や一人ひとりの体験などは大きく変化しています。まずは、基本に立ち返り、互いの保育や教育を見たり、子どもの目線で遊びや学びを実感したりすることが大きな一歩となるという思いから、長期休暇を利用し保育体験等を実施。こういった教職員の体験が、しっかり意味をもち、意義付けられるよう、県幼児教育アドバイザー等による研修の中で、子どもを中心にした教職員間の意見交流の場を設定しました。今年度も校園の目標のもと、子どもを真ん中にした教職員間のやりとりを通じて、互いの保育・教育への理解を深め、自らの実践に活かす取組を力強く進めてまいりたいと思います。

【取組紹介】心と体づくりに関わる活動

【金勝第2保育園】リズム遊び

金勝第2保育園では、毎朝リズム遊びに取り組み、ピアノの音に合わせて身近な生き物の動きを全身で表現しています。初めの頃はどのように体を動かすかわからず様子を見ている子もいましたが、毎日の積み重ねから、自分で「やってみたい」と心が動くことが増え、自分で決めて取り組んだり、体を動かしたりする楽しさや喜びを感じられるようになってきました。また、最近は自分だけでなく、友達が頑張っている姿に気付いて声をかけるようになってきています。



【金勝小学校】体育科『コースをはしろう』



白線で作られたくねくねコースや、横に倒したコーンをとび越えるコースなど、いろいろなコースを元気いっぱい走り抜ける子どもたち。「楽しい」「おもしろい」から、今度は「やってみたい!」の思いを大事にします。この後は、作られたコースだけでなく、グループでコースづくりをする時間をつくろうと思います。小さなコーンやミニハードルを、相談しながら並べ、自分たちが楽しめるオリジナルコースをつくります。

【金勝こども園】一本橋

園庭では、タイヤや竹などを組み合わせて遊具をつくって遊んでいます。一本橋を作ると、反対側から進んできた友達とぶつかり合い、自然とドッジジャンケンが始まりました。大勢で乗ることで思いがけず揺れ、「キャー!」と叫び、そこから「落ちたら最初からやで」とルールを新たに考える姿が見られていました。遊びの面白さやルールを確かめ合いながら楽しんでいます。



裏面に
架け橋期カリキュラム

<大切にしたいキーワード>
やってみたい! (心が動く)

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート【金勝小学校区】校名 金勝こども園・金勝第2保育園・金勝小学校

5歳児			第1学年			
時期	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像	心つながろう 金勝っ子 ～体で感じよう 言葉で伝えよう～					
健康な心と体	心と体を働かせ、遊びや生活に見通しをもって行動し、基本的な生活習慣を身に付ける。					
	自立心		保護者や友だちに助けてもらいながら、自分のやりたいことに向かって見通しをもって活動する。			
言葉による伝え合い	言葉に		気持ちや思い、考えを自分なりの言葉で伝え、友だちに相談したり話し合ったりする経験を重ねる。			
	環境単元		・自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、健康で安全な生活ができる環境の工夫 ・自らやってみようと思えるような環境の工夫 ・友だちと意見を共有できる場の設定 ・遊びが継続できる場の設定			
大切にしたいこと	関わり		・子ども一人一人が安心して過ごせるよう見守り、必要に応じて適切な援助をする。 ・子どもの「やってみよう」の思いに寄り添い、きっかけをつくったり見守ったりする。 ・自分の思いを安心して話せる関わり。 ・友だちと意見を共有できる時間の場の設定			
	今回の取組		やってみよう！ (心が動く) あきらめない！ (粘り強く) やればできる！ みてみてきて、それいいね！ (達成感)			
主な教育課程・予想される活動	心と体つくりに関わる活動（通年・4～5月）		水あそびに関わる活動（6～7月）		秋あそびに関わる活動（10～11月）	
	園	小	園	小	園	小
健康な心と体	・リズム遊び ・タイヤ引き ・クモの巣（平ゴム） ・竹の1本橋	・体育 ・コースづくり ・〇〇にへんしん ・〇〇おにごっこ など	・池遊び ・色水遊び ・シャボン玉 ・寒天あそび ・片栗粉遊びなど	・園工 ・カラフル水遊び ・みずあそび ・すなあそび ・しゃぼん玉 など	・散歩 ・落ち葉シャワー ・どんぐりひろい ・マラカス ・いもほり→芋づる芋スタンプ ・秋祭り など	・園工 ・リース作り ・国語 ・招待状作り ・秋の短作文 ・生活 ・秋みつけ ・お友達さん ・おもちゃづくり など
	・聴いて動く ・色々な動物になって表現 ・「先生見て」嬉しさを伝えたい ・自分でするか決める ・子どもがしたくなるまで待つ ・自分のタイミングでする	・パランスをとる。体を大きく動かす。心地よさを感じる ・順番、ルールを守る ・楽しいコースを試行錯誤しながら活動する ・自分がコース、動きを考える	・泥や泡の感触、アサガオを指でもみもみを楽しむ ・泡ですべらないように ・どうしたら〇〇できるかな？ （泡：作るのに必要なもの） （色水：ほしい色の花は？）	・どの色で何色の色水をつくらうか、何度も調整する ・乾、濡の状態の違いに気づく ・自分のつくりたい色を選ぶ ・作りたいシャボン玉を目指して工夫する	・食育 ・食べることの大事さ ・芋づるでなわとび電車ごっこ ・戸外に出て自然の中で遊ぶ ・落ち葉を集める人、選ぶ人などの役割を自分で選ぶ ・つるの長さ強度に気付き試す	・リースの編み込み手先の活動 ・落ち葉を踏む、葉の色に感無をもつ、五感で感じる ・作りたいものをとどんと作る ・自分の得意や友だちの得意をいかして選んでものづくり ・作ったものの工夫を伝え合う ・園の子へ伝わる（相手意識をもつて）招待状を書く。
自立心	・自分でするか決める ・子どもがしたくなるまで待つ ・自分のタイミングでする		・パランスをとる。体を大きく動かす。心地よさを感じる ・順番、ルールを守る ・楽しいコースを試行錯誤しながら活動する ・自分がコース、動きを考える		・食育 ・食べることの大事さ ・芋づるでなわとび電車ごっこ ・戸外に出て自然の中で遊ぶ ・落ち葉を集める人、選ぶ人などの役割を自分で選ぶ ・つるの長さ強度に気付き試す	
言葉による伝え合い	・友だちの姿に気づく ・〇〇ちゃんかっこいい（伝え合い）		・感動したこととをどどん言葉に ・友だちの作ったものに興味をもち真似る。どうやったらの？		・活動時の声かけ「手伝って」 ・お友達さん 役になりきる ・見たものしたことを伝える	